

問1 太平洋ベルトにおいて、東京都と神奈川県にまたがる、日本屈指の工業地域を何という？

1. 中京 2. 阪神 3. 京浜 4. 北九州

問2 製品の素材を加工して部品を作り、それを組み立てて製品を完成させるタイプの工業を何という？

1. 加工組立型 2. エネルギー型 3. 素材型 4. 資源型

問3 大都市の消費者に新鮮な野菜を届けるため、都市の近隣で行われる農業を何という？

1. 近郊農業 2. 促成栽培 3. 企業的農業 4. 抑制栽培

問4 1985年に先進5か国がドル安・円高へ誘導することに合意した出来事を何という？

1. プレトンウッズ協定 2. スミソニアン協定 3. プラザ合意 4. ルーブル合意

問5 冬の寒さを防ぎ、気温をコントロールして促成栽培を行うために積極的に利用される設備を何という？

1. コンバイン 2. トラクター 3. ビニールハウス 4. スプリンクラー

問6 特定の企業や工場を中心に、関連企業が集中して町全体が成り立っているような形態を何という？

1. 門前町 2. 港湾都市 3. 学園都市 4. 企業城下町

問7 促成栽培が盛んで、京浜や京阪神といった大都市へ野菜を出荷している四国の県はどこ？

1. 群馬県 2. 長野県 3. 北海道 4. 高知県

問8 温暖な気候を利用して、通常よりも早く野菜を収穫する栽培方法に最も適している地域はどこ？

1. 太平洋側 2. 中央高地 3. 瀬戸内側 4. 日本海側

問9 京浜工業地帯において、東京都と接しており、横浜港などの重要な港湾を持つ県はどこ？

1. 愛知県 2. 兵庫県 3. 福岡県 4. 神奈川県

問10 天然の資源を保護しつつ安定した供給を行うために、養殖業と組み合わせて取り組まれる手法を何という？

1. 栽培漁業 2. 沖合漁業 3. 養殖業 4. 遠洋漁業

問11 日本の栽培漁業において、沿岸部で盛んに増殖が行われている代表的な高級魚を何という？

1. ホタテガイ 2. ブリ 3. サケ 4. マダイ

問12 生産された作物を大都市などの消費地へ流通させるために経由する、卸売の拠点となる場所を何という？

1. 工場 2. 農協 3. 倉庫 4. 市場

問13 関東地方から九州にかけて、日本の製造業が集中している沿岸地域を何という？

1. 中央高地 2. 日本海側 3. 九州北部 4. 太平洋側

問14 長野県に位置し、夏に涼しい気候を生かしたレタスなどの生産が盛んな高原地帯はどこ？

1. 濃尾平野 2. 宮崎平野 3. 野辺山高原 4. 高知平野

問15 福岡県に建設され、石炭資源を利用して日本の重化学工業の発展の起点となった製鉄所を何という？

1. 八幡製鉄所 2. 川崎製鉄所 3. 釜石製鉄所 4. 富士製鉄所

問16 漁獲量を安定させるため、海産資源を管理しながら積極的に増やす仕組みを何という？

1. 遠洋漁業 2. 沿岸漁業 3. 資源管理型漁業 4. 沖合漁業

答え合わせ・解説

問1	答え 3 京浜	京浜工業地帯は、重化学工業を中心としてスタートしました。東京港や横浜港などの大きな港を抱え、原料の輸入から完成品の出荷までスムーズに行える利点があります。
問2	答え 1 加工組立型	加工組立型工業とは、部品を組み合わせる自動車や機械などの生産を指します。多くの専門的な中小企業に関わることで、高度な製品を効率よく生産できるのが特徴です。
問3	答え 1 近郊農業	近郊農業は、大都市に近い平野部で行われます。消費地に近いため、収穫したその日に店に並べることが可能であり、鮮度が求められるほうれん草や小松菜などの生産が盛んです。
問4	答え 3 プラザ合意	1985年、アメリカのプラザホテルで開かれたG5において、「プラザ合意」が成立しました。これにより各国は協調してドル安・円高を促すこととなり、結果として急激な円高が進行しました。
問5	答え 3 ビニールハウス	ビニールハウスは、骨組みにビニールやプラスチックのシートを張り、内部の温度や湿度を管理する施設です。太陽光を透過させて内部を暖め、外気の影響を抑えることで、野菜の成長を早めることができます。
問6	答え 4 企業城下町	企業城下町とは、ある大企業の工場が町の経済や雇用を支える中心となっている都市を指します。雇用が安定し、地域経済がその企業に依存する一方で、インフラ整備などが進むという特徴があります。
問7	答え 4 高知県	高知県は太平洋に面しており、冬でも日照時間が長く非常に温暖です。この気候を活かし、ビニールハウスを用いた促成栽培によって、冬から春にかけてナスやピーマンを京浜や京阪神などの大消費地へ大量に出荷しています。
問8	答え 1 太平洋側	促成栽培とは、気温の高い地域や施設を利用して、野菜の収穫時期を通常より早める技術です。冬に収穫できることで市場価格が高くなりやすい時期に出荷できるため、農家の収益向上にもつながります。
問9	答え 4 神奈川県	神奈川県の沿岸部には、京浜工業地帯の主力工場や物流倉庫、研究所が数多く存在します。特に横浜港は、古くから国際貿易港として日本と世界を結ぶ役割を果たしてきました。
問10	答え 1 栽培漁業	栽培漁業は、養殖業が生け簀内で最後まで育てるのに対し、自然の海に放流して成長を委ねる点が特徴です。これにより、魚の運動量が増え、より天然に近い状態で収穫できるメリットがあります。
問11	答え 4 マダイ	マダイは、孵化場で卵から稚魚まで育て、ある程度の大きさになったところで海に放流します。放流された稚魚は自然の海で成長し、一定の大きさになったところで再び漁獲されます。
問12	答え 4 市場	市場は、生産者が育てた野菜や果物を全国から集め、仲卸業者を通じてスーパーマーケットや小売店へ流通させる拠点です。適切な価格形成を行い、安定した供給を保证する役割を担っています。
問13	答え 4 太平洋側	太平洋ベルトと呼ばれるこの地域には、京浜や阪神などの主要な工業地帯が並んでいます。気候が温暖で人口も多く、巨大な消費地と生産地が近接しているため、工業の発展には非常に有利な条件が揃っていました。
問14	答え 3 野辺山高原	野辺山高原は長野県南牧村を中心に広がる高原地帯で、夏場の冷涼な気候を最大限に活用した抑制栽培が行われています。特にレタスの生産量は全国的にも非常に多く、大規模な農業経営が展開されています。
問15	答え 1 八幡製鉄所	八幡製鉄所は、1901年に操業を開始した官営製鉄所です。ここでの成功により、日本は鉄鋼製品を自給できるようになり、重化学工業の土台が築かれました。
問16	答え 3 資源管理型漁業	資源管理型漁業は、漁獲量に制限を設けたり、稚魚を放流したりして、資源を枯渇させないように管理する手法です。特に栽培漁業と密接に関連しており、自然の海を上手に活用する技術が重要視されています。

問1 大都市の消費者に新鮮な野菜を届けるため、都市の近隣で行われる農業を何という？

1. 近郊農業 2. 促成栽培 3. 企業的農業 4. 抑制栽培

問2 京浜工業地帯などで、かつての重化学工業からシフトして集積が進んでいる、高度な技術を要する産業を何という？

1. 食品工業 2. 繊維工業 3. 鉄鋼業 4. 先端技術産業

問3 現在、阪神工業地帯において大阪府から兵庫県にかけて集積している、石油精製やプラスチック製品などを作る工業を何という？

1. 繊維工業 2. 機械工業 3. 化学工業 4. 鉄鋼業

問4 河川の勾配や水量を利用し、ダムなどで水をためてタービンを回す発電方法を何という？

1. 風力発電 2. 地熱発電 3. 水力発電 4. 太陽光発電

問5 自然の海や川で魚を捕るのではなく、人の手で育ててから収穫する手法を何という？

1. 遠洋漁業 2. 栽培漁業 3. 沖合漁業 4. 養殖業

問6 太陽光や風力のように、自然界で繰り返し利用でき、発電時に二酸化炭素を排出しないものを何という？

1. 化石燃料 2. 再生可能エネルギー 3. 原子力発電 4. 火力発電

問7 貿易摩擦を解消するために、日本企業が消費地の近くに工場を建設して生産を行うことを何という？

1. 輸出拡大 2. 輸入制限 3. 委託生産 4. 現地生産

問8 天然の資源を保護しつつ安定した供給を行うために、養殖業と組み合わせる手法を何という？

1. 栽培漁業 2. 沖合漁業 3. 養殖業 4. 遠洋漁業

問9 かつて大阪湾周辺で、繊維製品などの製造を中心に発展した工業を何という？

1. 造船業 2. 製鉄業 3. 鉄鋼業 4. 綿工業

問10 日本企業がコスト削減を目的に生産拠点を海外へ移転した結果、国内の産業が衰退してしまう現象を何という？

1. 製造業 2. サービス業 3. 運輸業 4. 建設業

問11 1985年に先進5か国がドル安・円高へ誘導することに合意した出来事を何という？

1. プレトンウッズ協定 2. スミソニアン協定 3. プラザ合意 4. ルーブル合意

問12 旬の時期以外にも出荷量を安定させるため、ガラスやビニールハウスなどを使って栽培することを何という？

1. 施設園芸農業 2. 酪農 3. 畑作 4. 稲作

問13 高原などの冷涼な気候を利用して、平地の出荷が終わった時期に野菜を出荷する栽培方法を何という？

1. 近郊農業 2. 施設園芸農業 3. 促成栽培 4. 抑制栽培

問14 促成栽培が盛んで、京浜や京阪神といった大都市へ野菜を出荷している四国の県はどこ？

1. 群馬県 2. 長野県 3. 北海道 4. 高知県

問15 日本の栽培漁業において、沿岸部で盛んに増殖が行われている代表的な高級魚を何という？

1. ホタテガイ 2. ブリ 3. サケ 4. マダイ

答え合わせ・解説

問1	答え 1 近郊農業	近郊農業は、大都市に近い平野部で行われます。消費地に近いため、収穫したその日に店に並べることが可能であり、鮮度が求められるほうれん草や小松菜などの生産が盛んです。
問2	答え 4 先端技術産業	先端技術産業は、研究開発力や優秀な人材を必要とします。そのため、大学や研究機関が近く、生活環境の整った大都市圏や、その周辺に本社や研究所を設置する企業が増えています。
問3	答え 3 化学工業	化学工業は、石油や天然ガスなどを原料として、プラスチックや薬品、合成繊維などを生産します。阪神工業地帯では、中小企業が持つ高度な技術力が大手メーカーと連携し、付加価値の高い製品を生み出しています。
問4	答え 3 水力発電	「水力発電」は、ダムや落差を利用して水の勢いでタービンを回します。二酸化炭素を排出せず、需要に応じて即座に出力を調整できるため、電力の安定供給において重要な役割を果たしています。古くからあるエネルギー源ですが、技術の進化によりさらなる効率化が進んでいます。
問5	答え 4 養殖業	養殖業は、海や川に生け簀（いけす）などを設置し、餌を与えて魚介類を育てます。天然の資源量に左右されず、時期を調整して出荷できるため、経済的に非常に重要な産業となっています。
問6	答え 2 再生可能エネルギー	「再生可能エネルギー」は、太陽光、風力、地熱、水力、バイオマスなどが含まれます。これらは発電時に温室効果ガスをほとんど出さないため、地球環境に優しいエネルギーとして期待されています。
問7	答え 4 現地生産	「現地生産」は、製品を売る国の中で工場を運営する方式です。これにより、相手国の雇用を増やし、物流コストを抑えることができます。特に自動車産業では、日本メーカーがアメリカや欧州に大規模な工場を次々と建設しました。
問8	答え 1 栽培漁業	栽培漁業は、養殖業が生け簀内で最後まで育てるのに対し、自然の海に放流して成長を委ねる点が特徴です。これにより、魚の運動量が増え、より天然に近い状態で収穫できるメリットがあります。
問9	答え 4 綿工業	阪神工業地帯の発展初期において、綿工業は中心的な役割を果たしました。安価な労働力と輸出に適した立地を活かし、大阪は「東洋のマンチェスター」と呼ばれるほど繊維産業で栄えました。
問10	答え 1 製造業	国内の工場が減ることで、関連する下請け企業への発注が減り、地域の雇用が失われるなどの問題が起きました。これを「産業の空洞化」と呼びます。特に国内のモノづくりを支えてきた製造業において大きな打撃となりました。
問11	答え 3 プラザ合意	1985年、アメリカのプラザホテルで開かれたG5において、「プラザ合意」が成立しました。これにより各国は協調してドル安・円高を促すこととなり、結果として急激な円高が進行しました。
問12	答え 1 施設園芸農業	施設園芸農業は、ビニールハウスやガラス室の中で温度・湿度・日照時間を調整して栽培します。これにより、露地栽培では難しい時期の出荷が可能になり、市場価格が安定しやすくなります。
問13	答え 4 抑制栽培	抑制栽培は、夏でも涼しい高原地域などの環境を利用して、本来の旬より遅い時期に出荷を行う技術です。これにより、平地の産地が品薄になる夏場に新鮮な野菜を市場に供給することができます。
問14	答え 4 高知県	高知県は太平洋に面しており、冬でも日照時間が長く非常に温暖です。この気候を活かし、ビニールハウスを用いた促成栽培によって、冬から春にかけてナスやピーマンを京浜や京阪神などの大消費地へ大量に出荷しています。
問15	答え 4 マダイ	マダイは、孵化場で卵から稚魚まで育て、ある程度の大きさになったところで海に放流します。放流された稚魚は自然の海で成長し、一定の大きさになったところで再び漁獲されます。

問1 日本企業がコスト削減を目的に生産拠点を海外へ移転した結果、国内の産業が衰退してしまう現象を何という？

1. 製造業 2. サービス業 3. 運輸業 4. 建設業

問2 福岡県に建設され、石炭資源を利用して日本の重化学工業の発展の起点となった製鉄所を何という？

1. 八幡製鉄所 2. 川崎製鉄所 3. 釜石製鉄所 4. 富士製鉄所

問3 冬の寒さを防ぎ、気温をコントロールして促成栽培を行うために積極的に利用される設備を何という？

1. コンバイン 2. トラクター 3. ビニールハウス 4. スプリンクラー

問4 自然の海や川で魚を捕るのではなく、人の手で育ててから収穫する手法を何という？

1. 遠洋漁業 2. 栽培漁業 3. 沖合漁業 4. 養殖業

問5 河川の勾配や水量を利用し、ダムなどで水をためてタービンを回す発電方法を何という？

1. 風力発電 2. 地熱発電 3. 水力発電 4. 太陽光発電

問6 太平洋ベルトを中心に発展し、日本の主要な輸出製品を製造している産業分野を何という？

1. 自動車工業 2. 石油化学工業 3. 機械工業 4. 製鉄業

問7 1985年に先進5か国がドル安・円高へ誘導することに合意した出来事を何という？

1. プレトンウッズ協定 2. スミソニアン協定 3. プラザ合意 4. ルーブル合意

問8 太陽光や風力のように、自然界で繰り返し利用でき、発電時に二酸化炭素を排出しないものを何という？

1. 化石燃料 2. 再生可能エネルギー 3. 原子力発電 4. 火力発電

問9 稚魚や稚貝を人の手で育ててから海に放流し、成長してから捕獲する手法を何という？

1. 栽培漁業 2. 養殖業 3. 沖合漁業 4. 遠洋漁業

問10 特定の企業や工場を中心に、関連企業が集中して町全体が成り立っているような形態を何という？

1. 門前町 2. 港湾都市 3. 学園都市 4. 企業城下町

問11 近郊農業において、収穫した作物を短時間で市場へ届けるために主に用いられる輸送手段は何？

1. 航空輸送 2. 鉄道輸送 3. トラック輸送 4. 船便輸送

問12 京浜工業地帯などで、かつての重化学工業からシフトして集積が進んでいる、高度な技術を要する産業を何という？

1. 食品工業 2. 繊維工業 3. 鉄鋼業 4. 先端技術産業

問13 高原などの冷涼な気候を利用して、平地の出荷が終わった時期に野菜を出荷する栽培方法を何という？

1. 近郊農業 2. 施設園芸農業 3. 促成栽培 4. 抑制栽培

問14 現在、阪神工業地帯において大阪府から兵庫県にかけて集積している、石油精製やプラスチック製品などを作る工業を何という？

1. 繊維工業 2. 機械工業 3. 化学工業 4. 鉄鋼業

問15 生産された作物を大都市などの消費地へ流通させるために経由する、卸売の拠点となる場所を何という？

1. 工場 2. 農協 3. 倉庫 4. 市場

答え合わせ・解説

問1	答え 1 製造業	国内の工場が減ることで、関連する下請け企業への発注が減り、地域の雇用が失われるなどの問題が起きました。これを「産業の空洞化」と呼びます。特に国内のモノづくりを支えてきた製造業において大きな打撃となりました。
問2	答え 1 八幡製鉄所	八幡製鉄所は、1901年に操業を開始した官営製鉄所です。ここでの成功により、日本は鉄鋼製品を自給できるようになり、重化学工業の土台が築かれました。
問3	答え 3 ビニールハウス	ビニールハウスは、骨組みにビニールやプラスチックのシートを張り、内部の温度や湿度を管理する施設です。太陽光を透過させて内部を暖め、外気の影響を抑えることで、野菜の成長を早めることができます。
問4	答え 4 養殖業	養殖業は、海や川に生け簀（いけす）などを設置し、餌を与えて魚介類を育てます。天然の資源量に左右されず、時期を調整して出荷できるため、経済的に非常に重要な産業となっています。
問5	答え 3 水力発電	「水力発電」は、ダムや落差を利用して水の勢いでタービンを回します。二酸化炭素を排出せず、需要に応じて即座に出力を調整できるため、電力の安定供給において重要な役割を果たしています。古くからあるエネルギー源ですが、技術の進化によりさらなる効率化が進んでいます。
問6	答え 1 自動車工業	自動車工業は、鉄鋼、機械、電気など数多くの関連産業から成り立つ「すそ野の広い産業」です。多くの部品を港に近い工場で組み立て、完成車として世界へ輸出する体制が整っています。
問7	答え 3 プラザ合意	1985年、アメリカのプラザホテルで開かれたG5において、「プラザ合意」が成立しました。これにより各国は協調してドル安・円高を促すこととなり、結果として急激な円高が進行しました。
問8	答え 2 再生可能エネルギー	「再生可能エネルギー」は、太陽光、風力、地熱、水力、バイオマスなどが含まれます。これらは発電時に温室効果ガスをほとんど出さないため、地球環境に優しいエネルギーとして期待されています。
問9	答え 1 栽培漁業	栽培漁業は、人工孵化させた稚魚や稚貝を、ある程度大きくなるまで飼育し、その後海に放流する手法です。自然界で成長した個体を捕獲するため、天然に近い状態で水揚げできるのが特徴です。【概要】マダイやヒラメ、クルマエビなどで盛んに行われており、日本の水産資源の維持と安定供給に大きく貢献しています。
問10	答え 4 企業城下町	企業城下町とは、ある大企業の工場が町の経済や雇用を支える中心となっている都市を指します。雇用が安定し、地域経済がその企業に依存する一方で、インフラ整備などが進むという特徴があります。
問11	答え 3 トラック輸送	トラック輸送は、日本の近郊農業において最も一般的な輸送手段です。深夜や早朝の高速道路網を利用して、大都市の市場へ短時間で農産物を運ぶことで、鮮度を保ったまま店頭に並べることができます。
問12	答え 4 先端技術産業	先端技術産業は、研究開発力や優秀な人材を必要とします。そのため、大学や研究機関が近く、生活環境の整った大都市圏や、その周辺に本社や研究所を設置する企業が増えています。
問13	答え 4 抑制栽培	抑制栽培は、夏でも涼しい高原地域などの環境を利用して、本来の旬より遅い時期に出荷を行う技術です。これにより、平地の産地が品薄になる夏場に新鮮な野菜を市場に供給することができます。
問14	答え 3 化学工業	化学工業は、石油や天然ガスなどを原料として、プラスチックや薬品、合成繊維などを生産します。阪神工業地帯では、中小企業が持つ高度な技術力が大手メーカーと連携し、付加価値の高い製品を生み出しています。
問15	答え 4 市場	市場は、生産者が育てた野菜や果物を全国から集め、仲卸業者を通じてスーパーマーケットや小売店へ流通させる拠点です。適切な価格形成を行い、安定した供給を保证する役割を担っています。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 企業城下町	企業城下町とは、ある大企業の工場が町の経済や雇用を支える中心となっている都市を指します。雇用が安定し、地域経済がその企業に依存する一方で、インフラ整備などが進むという特徴があります。
問2	答え 4 市場	市場は、生産者が育てた野菜や果物を全国から集め、仲卸業者を通じてスーパーマーケットや小売店へ流通させる拠点です。適切な価格形成を行い、安定した供給を保证する役割を担っています。
問3	答え 3 トラック輸送	トラック輸送は、日本の近郊農業において最も一般的な輸送手段です。深夜や早朝の高速道路網を利用して、大都市の市場へ短時間で農産物を運ぶことで、鮮度を保ったまま店頭と並べることができます。
問4	答え 3 資源管理型漁業	資源管理型漁業は、漁獲量に制限を設けたり、稚魚を放流したりして、資源を枯渇させないように管理する手法です。特に栽培漁業と密接に関連しており、自然の海を上手に活用する技術が重要視されています。
問5	答え 1 製造業	国内の工場が減ることで、関連する下請け企業への発注が減り、地域の雇用が失われるなどの問題が起きました。これを「産業の空洞化」と呼びます。特に国内のモノづくりを支えてきた製造業において大きな打撃となりました。
問6	答え 1 八幡製鉄所	八幡製鉄所は、1901年に操業を開始した官営製鉄所です。ここでの成功により、日本は鉄鋼製品を自給できるようになり、重化学工業の土台が築かれました。
問7	答え 1 近郊農業	近郊農業は、大都市に近い平野部で行われます。消費地に近いため、収穫したその日に店に並べることが可能であり、鮮度が求められるほうれん草や小松菜などの生産が盛んです。
問8	答え 4 綿工業	阪神工業地帯の発展初期において、綿工業は中心的な役割を果たしました。安価な労働力と輸出に適した立地を活かし、大阪は「東洋のマンチェスター」と呼ばれるほど繊維産業で栄えました。
問9	答え 1 栽培漁業	栽培漁業は、人工孵化させた稚魚や稚貝を、ある程度大きくなるまで飼育し、その後海に放流する手法です。自然界で成長した個体を捕獲するため、天然に近い状態で水揚げできるのが特徴です。【概要】マダイやヒラメ、クルマエビなどで盛んに行われており、日本の水産資源の維持と安定供給に大きく貢献しています。
問10	答え 2 再生可能エネルギー	「再生可能エネルギー」は、太陽光、風力、地熱、水力、バイオマスなどが含まれます。これらは発電時に温室効果ガスをほとんど出さないため、地球環境に優しいエネルギーとして期待されています。
問11	答え 4 現地生産	「現地生産」は、製品を売る国の中で工場を運営する方式です。これにより、相手国の雇用を増やし、物流コストを抑えることができます。特に自動車産業では、日本メーカーがアメリカや欧州に大規模な工場を次々と建設しました。
問12	答え 4 神奈川県	神奈川県の沿岸部には、京浜工業地帯の主力工場や物流倉庫、研究所が数多く存在します。特に横浜港は、古くから国際貿易港として日本と世界を結ぶ役割を果たしてきました。
問13	答え 3 プラザ合意	1985年、アメリカのプラザホテルで開かれたG5において、「プラザ合意」が成立しました。これにより各国は協調してドル安・円高を促すこととなり、結果として急激な円高が進行しました。
問14	答え 1 太平洋側	促成栽培とは、気温の高い地域や施設を利用して、野菜の収穫時期を通常より早める技術です。冬に収穫できることで市場価格が高くなりやすい時期に出荷できるため、農家の収益向上にもつながります。
問15	答え 2 貿易不均衡	しかし、日本からの輸出が急増しすぎることによって、輸入相手国との間で「貿易不均衡」が生じました。特にアメリカとの間では激しい摩擦（貿易摩擦）となり、日本の製品に対する関税の引き上げや、輸出の自主規制などが求められる事態となりました。
問16	答え 4 高知県	高知県は太平洋に面しており、冬でも日照時間が長く非常に温暖です。この気候を活かし、ビニールハウスを用いた促成栽培によって、冬から春にかけてナスやピーマンを京浜や京阪神などの大消費地へ大量に出荷しています。

問1 高原などの冷涼な気候を利用して、平地の出荷が終わった時期に野菜を出荷する栽培方法を何という？

1. 近郊農業 2. 施設園芸農業 3. 促成栽培 4. 抑制栽培

問2 関東地方から九州にかけて、日本の製造業が集中している沿岸地域を何という？

1. 中央高地 2. 日本海側 3. 九州北部 4. 太平洋側

問3 日本の海面養殖業で盛んに生産されており、食卓でも身近な海藻類を何という？

1. カキ 2. のり 3. ブリ 4. マダイ

問4 太平洋ベルトを中心に発展し、日本の主要な輸出製品を製造している産業分野を何という？

1. 自動車工業 2. 石油化学工業 3. 機械工業 4. 製鉄業

問5 1980年代に、日本から自動車や半導体などが大量に輸出されたことで生じた国際的な不釣り合いを何という？

1. 輸入超過 2. 貿易不均衡 3. 輸出超過 4. 関税障壁

問6 京浜工業地帯において、東京都と接しており、横浜港などの重要な港湾を持つ県はどこ？

1. 愛知県 2. 兵庫県 3. 福岡県 4. 神奈川県

問7 稚魚や稚貝を人の手で育ててから海に放流し、成長してから捕獲する手法を何という？

1. 栽培漁業 2. 養殖業 3. 沖合漁業 4. 遠洋漁業

問8 温暖な気候を利用して、通常よりも早く野菜を収穫する栽培方法に最も適している地域はどこ？

1. 太平洋側 2. 中央高地 3. 瀬戸内側 4. 日本海側

問9 大都市の消費者に新鮮な野菜を届けるため、都市の近隣で行われる農業を何という？

1. 近郊農業 2. 促成栽培 3. 企業的農業 4. 抑制栽培

問10 天然の資源を保護しつつ安定した供給を行うために、養殖業と組み合わせて取り組まれる手法を何という？

1. 栽培漁業 2. 沖合漁業 3. 養殖業 4. 遠洋漁業

問11 日本企業が海外の工場建設や現地法人設立のために資金を投入することを何という？

1. 間接投資 2. 公的融資 3. 証券投資 4. 直接投資

問12 旬の時期以外にも出荷量を安定させるため、ガラスやビニールハウスなどを使って栽培することを何という？

1. 施設園芸農業 2. 酪農 3. 畑作 4. 稲作

問13 太陽光や風力のように、自然界で繰り返し利用でき、発電時に二酸化炭素を排出しないものを何という？

1. 化石燃料 2. 再生可能エネルギー 3. 原子力発電 4. 火力発電

問14 京浜工業地帯などで、かつての重化学工業からシフトして集積が進んでいる、高度な技術を要する産業を何という？

1. 食品工業 2. 繊維工業 3. 鉄鋼業 4. 先端技術産業

問15 1985年に先進5か国がドル安・円高へ誘導することに合意した出来事を何という？

1. プレトンウッズ協定 2. スミソニアン協定 3. プラザ合意 4. ルーブル合意

問16 日本の栽培漁業において、沿岸部で盛んに増殖が行われている代表的な高級魚を何という？

1. ホタテガイ 2. ブリ 3. サケ 4. マダイ

答え合わせ・解説

問1	答え 4 抑制栽培	抑制栽培は、夏でも涼しい高原地域などの環境を利用して、本来の旬より遅い時期に出荷を行う技術です。これにより、平地の産地が品薄になる夏場に新鮮な野菜を市場に供給することができます。
問2	答え 4 太平洋側	太平洋ベルトと呼ばれるこの地域には、京浜や阪神などの主要な工業地帯が並んでいます。気候が温暖で人口も多く、巨大な消費地と生産地が近接しているため、工業の発展には非常に有利な条件が揃っていました。
問3	答え 2 のり	のり養殖は、寒冷な時期に潮の満ち引きを利用して網の上で育てます。成長したのりは収穫後に乾燥され、板のりとして全国に出荷されます。
問4	答え 1 自動車工業	自動車工業は、鉄鋼、機械、電気など数多くの関連産業から成り立つ「すそ野の広い産業」です。多くの部品を港に近い工場で組み立て、完成車として世界へ輸出する体制が整っています。
問5	答え 2 貿易不均衡	しかし、日本からの輸出が急増しすぎることによって、輸入相手国との間で「貿易不均衡」が生じました。特にアメリカとの間では激しい摩擦（貿易摩擦）となり、日本の製品に対する関税の引き上げや、輸出の自主規制などが求められる事態となりました。
問6	答え 4 神奈川県	神奈川県の沿岸部には、京浜工業地帯の主力工場や物流倉庫、研究所が数多く存在します。特に横浜港は、古くから国際貿易港として日本と世界を結ぶ役割を果たしてきました。
問7	答え 1 栽培漁業	栽培漁業は、人工孵化させた稚魚や稚貝を、ある程度大きくなるまで飼育し、その後海に放流する手法です。自然界で成長した個体を捕獲するため、天然に近い状態で水揚げできるのが特徴です。【概要】マダイやヒラメ、クルマエビなどで盛んに行われており、日本の水産資源の維持と安定供給に大きく貢献しています。
問8	答え 1 太平洋側	促成栽培とは、気温の高い地域や施設を利用して、野菜の収穫時期を通常より早める技術です。冬に収穫できることで市場価格が高くなりやすい時期に出荷できるため、農家の収益向上にもつながります。
問9	答え 1 近郊農業	近郊農業は、大都市に近い平野部で行われます。消費地に近いため、収穫したその日に店に並べることが可能であり、鮮度が求められるほうれん草や小松菜などの生産が盛んです。
問10	答え 1 栽培漁業	栽培漁業は、養殖業が生け簀内で最後まで育てるのに対し、自然の海に放流して成長を委ねる点の特徴です。これにより、魚の運動量が増え、より天然に近い状態で収穫できるメリットがあります。
問11	答え 4 直接投資	「直接投資」とは、単なる証券投資とは異なり、海外で現地生産のための拠点を設けるような経済活動を指します。これにより、現地での雇用創出や技術移転が行われる一方、国内での生産活動が減少するという側面も持ち合わせています。
問12	答え 1 施設園芸農業	施設園芸農業は、ビニールハウスやガラス室の中で温度・湿度・日照時間を調整して栽培します。これにより、露地栽培では難しい時期の出荷が可能になり、市場価格が安定しやすくなります。
問13	答え 2 再生可能エネルギー	「再生可能エネルギー」は、太陽光、風力、地熱、水力、バイオマスなどが含まれます。これらは発電時に温室効果ガスをほとんど出さないため、地球環境に優しいエネルギーとして期待されています。
問14	答え 4 先端技術産業	先端技術産業は、研究開発力や優秀な人材を必要とします。そのため、大学や研究機関が近く、生活環境の整った大都市圏や、その周辺に本社や研究所を設置する企業が増えています。
問15	答え 3 プラザ合意	1985年、アメリカのプラザホテルで開かれたG5において、「プラザ合意」が成立しました。これにより各国は協調してドル安・円高を促すこととなり、結果として急激な円高が進行しました。
問16	答え 4 マダイ	マダイは、孵化場で卵から稚魚まで育て、ある程度の大きさになったところで海に放流します。放流された稚魚は自然の海で成長し、一定の大きさになったところで再び漁獲されます。